



チバニアン決定に関するコメント

本日1月17日、韓国・釜山で開催された国際地質科学連合（IUGS）理事会において、地質時代の中期更新世（約77万4千年前～約12万9千年前）が、「チバニアン（Chibanian）」と名付けられることが決まりました。

地質時代に日本の地名に由来する名称が用いられることは、日本のジオパーク活動を推進する私たち日本ジオパークネットワーク（JGN）としても大変喜ばしいことであり、これまでの関係者の皆さんの努力に敬意を表します。

これを機に地球科学分野に対する関心が一層高まり、ひいてはJGNの目的であるジオパーク活動の発展につながることを期待するとともに、この活動に取り組む全国の仲間とともに持続可能な社会の実現に寄与して参りたいと考えております。

2020年1月17日

特定非営利活動法人
日本ジオパークネットワーク
理事長 米田 徹